

gigaACE オプションカード

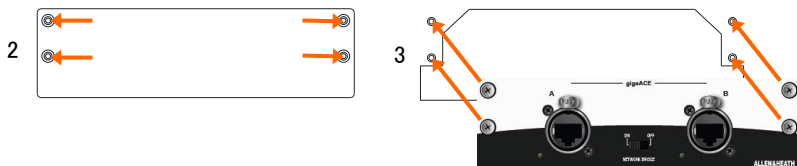
M-DL-GACEは、Allen&Heath dLiveのI/Oポートに取り付け可能なオーディオネットワークオプションの1つです。別のdLiveミキシングシステムへの128 x 128ch、96kHzのgigaACEポイントツーポイントリンクを提供します。

gigaACEは、標準のCATケーブルを使用してイーサネット経由でオーディオとコントロールを伝送するためのAllen&Heath独自のプロトコルです。これにより、超低レイテンシーとケーブルリダンダンシーを実現し、同じ接続を介してTCP/IPネットワーク制御をトンネリングできます。

- ❶ 長さ100mまでのCAT5e(またはそれ以上の仕様)ケーブルを使用してください。
- ❷ M-DL-GACEには、dLiveファームウェアV1.3以降が必要です。

フィッティング

1. システムの電源を切ります。
2. dLiveミックスラック またはサーフェイスのI/Oポートブランクパネルを固定している4本のネジを外します。
3. カードをスロットに差し込み、コネクタにしっかりと押し込みます。
4. 4本のネジを取り付けてカードを固定します。



クロックとシグナルパッチ設定

dLive **I/O** 画面を使用して、I/Oポートとシグナルをパッチします。

クロックソースを選択するには、**MixRack / Audio / Audio Sync** 画面を使用します。マスターシステムではInternalに設定し、ネットワーク接続された他のすべての(クロックスレーブ)システムでは関連するI/Oポートに設定します。

- ❶ dLiveのセットアップと機能の詳細については、www.allen-heath.comからダウンロード可能な「dLiveファームウェアリファレンスガイド」を参照してください。

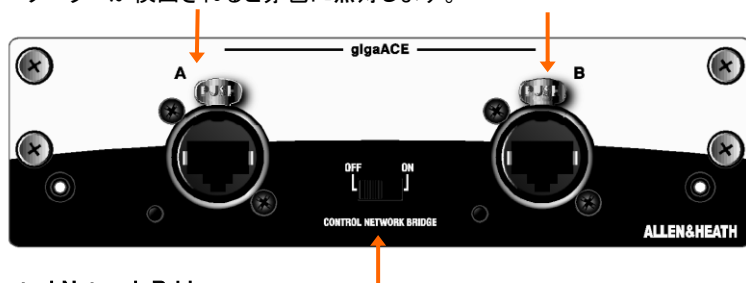
フロントパネル

gigaACE port A

他のデバイスのgigaACEポートに接続します。
リンクステータスLEDは、ネットワークアクティビティを示すために黄色に点滅し、接続またはデータエラーが検出されると赤色に点灯します。

gigaACE port B

オプションのリダンダントバックアップ接続。



Control Network Bridge

dLive制御ネットワークをgigaACEにリンクして、dLive制御データとサードパーティーのイーサネットデータがgigaACE接続を介してトンネリングされるようにします。例えば、デジタルスプリットセットアップでこのスイッチをオンにして、Directorを実行している同じラックトップがFoHまたはモニターシステムを制御できるようにします。

- ① コントロールネットワークブリッジを有効にする前に、ネットワーク上のすべてのデバイスが、同じサブネット内で一意の互換性のあるIPアドレスを持っていることを確認してください。

この製品には、一年間のメーカー保証が適用されます。

保証の条件については、www.allen-heath.com/legal を参照してください。



This product complies with the European Electromagnetic Compatibility directive 2014/30/EU and the European Low Voltage directive 2014/35/EU.

Copyright © 2016 Allen & Heath. All rights reserved.

ALLEN & HEATH

Allen & Heath Limited, Kernick Industrial Estate, Penryn, Cornwall, TR10 9LU, UK

<http://www.allen-heath.com>



株式会社アートウィズ

本社:〒162-0041 東京都新宿区早稲田弦巻町511 Tel:03-3202-2330 / Fax:03-3202-2331
山梨営業所:〒409-3845 山梨県中央市山之神流通団地3-3-4 Tel:055-274-4004 / Fax:055-274-4005

